

宇宙の果ての銀河地図

人類は、自分の居場所を知るため、宇宙の地図を作ってきました。宇宙地図は、広大な宇宙の理解を深めるとともに、人類の意識を変えてきました。今や新しい技術の発展によって、130 億光年の彼方の宇宙地図を描くことができる時代になっています。市川氏は、赤外線観測装置の開発に携わりながら、すばる望遠鏡で宇宙の果ての銀河地図を作り、銀河の研究を行ってきました。そのプロジェクトをさらに発展するために進めてきた南極での天文学の開拓についてご紹介いたします。また、建設中の 30m 望遠鏡や新宇宙望遠鏡への期待についてもお話しします。

2017年

12/2 (土) | 14:30
16:00

会場

神山天文台 地下1階 サギタリウスホール

★夜間は天体観望会を実施致します（悪天候時は宇宙の3D映像上映会を開催）
開催時間 18:00 ~ 20:00（受付 19:30 まで）

申込不要

入場無料

小学校高学年以上対象

講師



市川 隆 氏

東北大学名誉教授

1951 年静岡県生まれ。1982 年京都大学で博士号を取得後、京都大学研修員、一橋大学助手を経て、1991 年から東京大学助手として木曾観測所勤務。1996 年東北大学理学研究科に助教授として赴任、教授を経て、現在は東北大学名誉教授。日本天文学会前会長。

主催 京都産業大学神山天文台 後援 京都市教育委員会

その他 講座終了後には「アストロノミー・カフェ」（16:00 ~ 17:00）を開催します。お茶を飲みながら講師や天文台スタッフと気軽に会話を交えて頂けますので、どうぞご参加ください。

問合せ 京都産業大学 神山天文台 ☎ 075-705-3001 🌐 <http://www.kyoto-su.ac.jp/observatory/>

